

プレスリリース
2016年3月3日

宇沢国際学館主催公開シンポジウム「人間と地球のための経済 — 経済学は救いとなるか？」
宇沢弘文教授 メモリアル・シンポジウムのお知らせ

2016年3月16日（水）、ノーベル経済学賞受賞者のジョセフ・スティグリッツ教授を迎えて、宇沢弘文教授メモリアル・シンポジウム「人間と地球のための経済 — 経済学は救いとなるか？」を国連大学ウ・タントホール（渋谷区）にて開催いたします。

地球環境問題が深刻化し、グローバル化の進行と格差と対立の激化する今日の世界において、果たしてすべての人が人間としての尊厳ある生活が維持できる持続可能な経済社会は可能でしょうか。

宇沢弘文教授（1928～2014）は、戦後の日本の荒廃のなかで経済学を志し、アメリカ人経済学者ケネス・アローらとともに経済学に新たな数学的手法を持ち込みました。その関心は一貫して、市場均衡の問題、経済成長、持続可能な発展の問題に向けられ、著書『自動車の社会的費用』では、自動車と人間が共存しうる都市設計について経済学的分析を行い、「社会的共通資本」の概念を生み出しました。

本シンポジウムでは、社会的共通資本の理論を展開し、人間と地球のための経済学を探求した宇沢教授の業績を振り返りながら、これらの現代的課題を自由に議論することを通じて、将来への展望を探ります。スティグリッツ教授のほか、宇沢達名古屋大学教授、松下和夫京都大学名誉教授、竹本和彦国連大学サステナビリティ高等研究所長が議論に加わります。

日時：2016年3月16日（水）、15:00～18:00

会場：国連大学、ウ・タント国際会議場（〒150-8925 東京都渋谷区神宮前 5-53-70）

言語：日本語と英語（同時通訳付き）で行われます。

登録ご希望の方は国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）のウェブサイト

（ias.unu.edu/jp）をご参照ください。プログラムおよび詳細については、UNU-IASのウェブサイトをご覧ください。

連絡先：占部まり（宇沢国際学館）urabe.jp@gmail.com

宇沢国際学館とは、社会的共通資本論を提唱した経済学者宇沢弘文の思想の普及啓発活動を行う非営利民間団体です。